

# 北部機械金属業界の景況動向

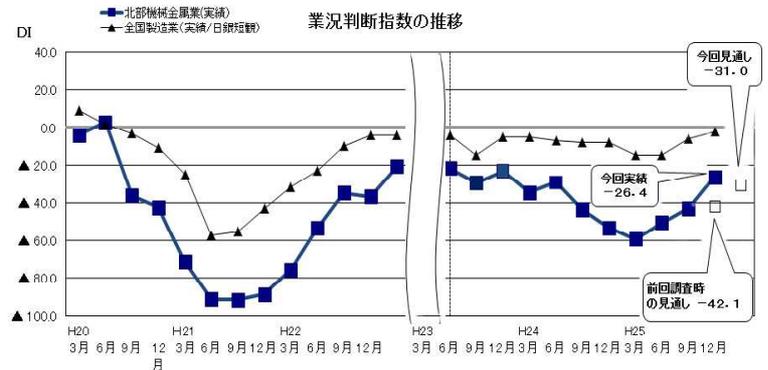
(2013年7~9月実績/2013年10~12月見通し)

- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業281社 【調査時点 平成25年9月下旬】
- 回答数：157社（回答率55.9%、内訳は以下のとおり。）
  - ①市町別 = 福知山市:29、舞鶴市:19、綾部市:24、宮津市・与謝郡:19、京丹後市:66
  - ②取扱別 = 一般機械:70、電気機械:14、輸送機械:33、精密機械:21、その他:16、未回答:3
  - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等      電気機械…家電部品、電子部品等
  - 輸送機械…自動車部品、船舶等              精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
  - ③従業員数別 = 1~9人:70、10~19人:24、20~49人:35、50~99人:11、100人以上:15、未回答:2
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

## — 調査結果 —

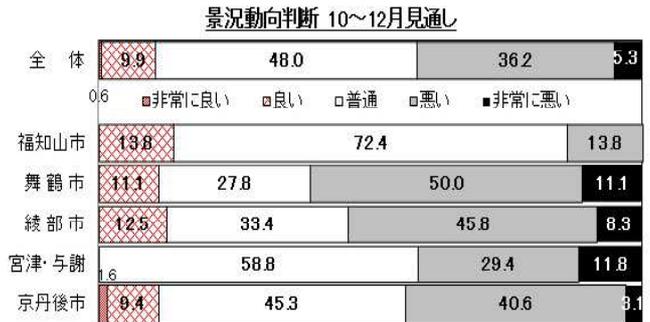
### 1 景況動向判断

●7~9月実績のDI(業況判断指数)は-26.4となり、前回調査(4~6月分。以下「前回」という。)より16.5ポイント改善した(前回-42.9)。福知山市域は3.4(前回-10.3)、舞鶴市域は-38.9(前回-44.5)、綾部市域は-33.3(前回-36.0)、宮津市・与謝郡域は-42.2(前回-52.9)、京丹後市域は-28.8(前回-57.0)と、全ての地域で改善している。



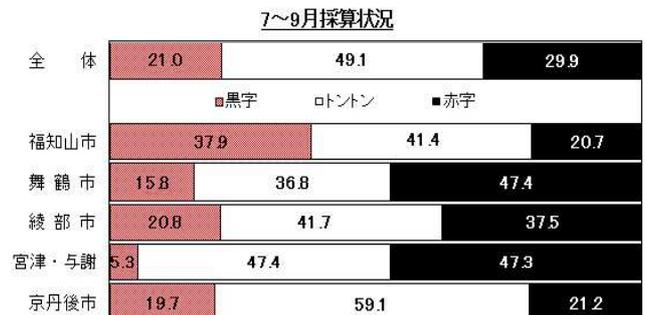
注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●10~12月見通しのDIは-31.0と、前回より11.1ポイント改善した。(前回-42.1)。地域別に見ると、福知山市域は0.0(前回-6.9)、舞鶴市域は-50.0(前回-44.4)、綾部市域は-41.6(前回-41.6)、宮津市・与謝郡域は-41.2(前回-62.5)、京丹後市域は-32.7(前回-52.4)であった。舞鶴市域のみ、前回調査時より悪い見通しとなっている。

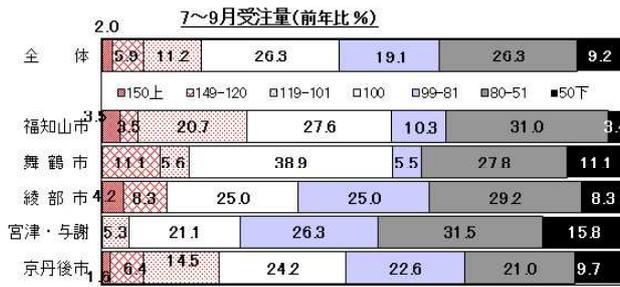


### 2 採算状況

●7~9月の採算状況は、全体では、黒字とする企業が21.0%（前回20.5%）、赤字とする企業が29.9%（前回34.4%）で、赤字とする企業が黒字とする企業を上回る状況は変わらないが、福知山市域のみ、黒字とする企業が赤字とする企業を17.2ポイント上回っている。また、福知山市域と京丹後市域では他地域に比べて赤字とする企業が少ない。



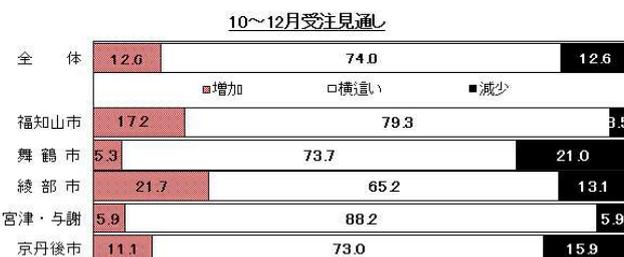
### 3 受注量



●7～9月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は45.4%（前回32.0%）と13.4ポイント増加した。全地域で増加しているが、特に京丹後市域で、46.7%（前回25.4%）と増加幅が顕著である。対3か月前比100%以上を確保した企業は59.8%（前回51.9%）と7.9ポイント増加した。特に綾部市域、宮津・与謝郡域、京丹後市域において、前回よりも受注が大幅に増加している。



●7～9月の受注量（受注能力を100として%）は、100%以上とした企業は31.6%（前回20.7%）と増加した。福知山市域では、4割以上の企業が100%以上としている一方、舞鶴市域、宮津市・与謝郡域では1割以上の企業が50%以下としており、まだ生産余力がある。



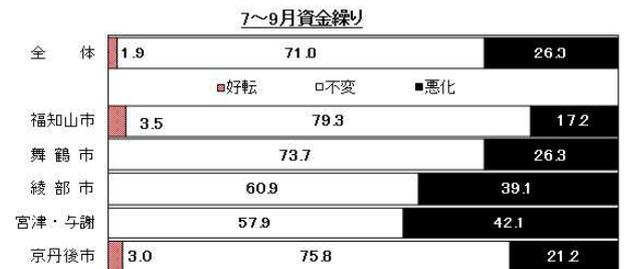
●10～12月の受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合は12.6%（前回10.6%）と2.0ポイント増加し、減少を見込む企業の割合は12.6%（前回17.0%）と4.4ポイント改善した。一方、舞鶴市域では21.0%の企業が減少を見込んでいる。

### 4 受注条件（受注単価／納期）



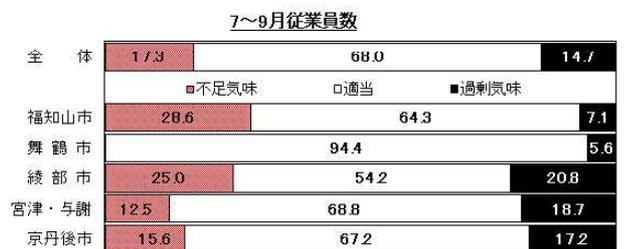
●受注単価が下がったとする企業は11.0%（前回23.0%）と、12.0ポイント改善された。納期が短くなったとする企業は35.1%（前回34.2%）と前回調査時とほぼ同じ状況であった。

### 5 資金繰り



●資金繰りは、悪化とした企業が26.3%（前回27.6%）と前回より1.3ポイント改善した。地域別では、福知山市域と京丹後市域以外では好転とした企業は皆無であり、綾部市域では39.1%の企業が悪化としており、前回（25.0%）より高くなっている。

### 6 従業員数



●従業員数は、不足気味が17.3%（前回13.2%）、過剰気味が14.7%（前回21.0%）となった。地域別では、舞鶴市域では不足気味とする企業が無く、綾部市域、宮津市・与謝郡域、京丹後市域では不足気味とする企業と過剰気味とする企業が拮抗している。